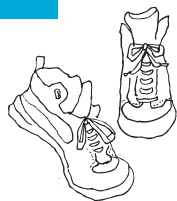
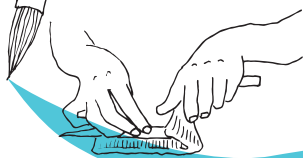


豊橋ライフスタイルブック

クラストコ

暮らすとこ

VOL.02



クラストコ＝暮らす＋とこ

私たちが住む愛知県豊橋市は、日本のほぼ中央に位置する
人口38万人の、都会すぎず田舎すぎない
「ほど良く住みやすい、ちょうどいい街」です。

豊橋に「暮らしてほしい」「暮らし続けてほしい」という思いで、
クラストコは平成29年3月に創刊し、
今回で2号目を迎えます。

クラストコの特徴は、女性のライフスタイルを提案する本であるということ。
創刊号は豊橋を「愉しむ」をテーマに、
豊橋らしい愉しみ方をお伝えしました。
今回のテーマは「働く」。

豊橋に暮らしているからこそ叶えることができた、
好きなことを仕事にした女性5名を紹介します。
仕事に取り組む姿勢はもちろん、豊橋の良さ、ライフスタイルを
女性ならではの視点からお伝えします。

豊橋があなたにとって、一生のクラストコでありますように。

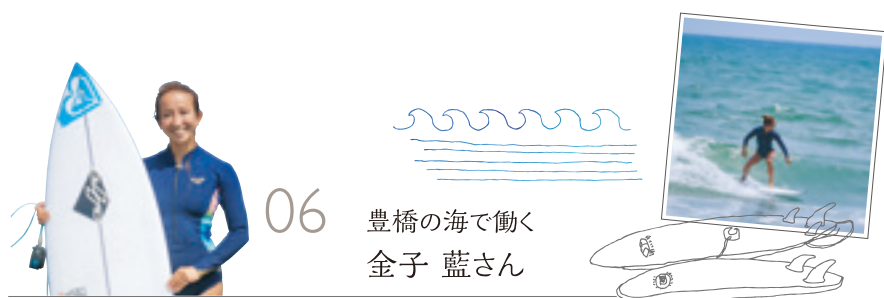


クラストコ ～働く～

CONTENTS

01 クラストコ＝暮らす＋とこ

04 私たちが暮らす街「豊橋」で働く



06 豊橋の海で働く
金子 藍さん



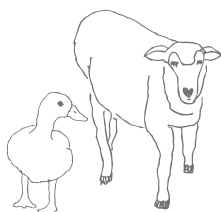
12 豊橋の筆工房で働く
中西 由季さん

18 日本の伝統仕事着「帆前掛け」を知ろう!



20 豊橋の農家で働く
小林 礼奈さん





26 豊橋の動物園で働く
石尾 雪乃さん



32

豊橋のダンススタジオで働く
バネッサ・マサキ・ミナモトさん



38

取材を終えて



40

クラストコができるまで『取材の裏側』

42

クラストコVOL.01 体験会

44

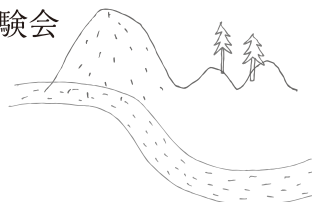
クラストコMAP

46

編集後記&次回予告

48

おわりに





01 金子 藍

Kaneko Ai

私たちが暮らす街「豊橋」で働く

私たちが暮らす街 豊橋には、たくさんの働く場所があります。

「豊橋で自分らしく働くこと」、「豊橋だからこそ夢が叶った働き方」。

海、伝統工芸、農業、レジャー施設、ダンススタジオと、

豊橋ならではの気候や風土、環境を活かして仕事をしている女性5名を紹介します。

02 中西 由季

Nakanishi Yuki





03
Kobayashi Rena

小林
礼奈



04
Ishio Yukino

石尾
雪乃



バネッサ・マサキ・ミナモト

05
Vanessa
Masaki
Minamoto



クラストコ

働く
01

豊橋の海で働く

金子 藍さん(37歳)

豊橋の南部エリアには、
太平洋に面した広大な表浜海岸があります。
この海岸には、一年を通して
コンスタントに波が立ち、
サーフィン大会も開催されるなど、
全国各地からサーファーが集結します。
そんな中、平成21年に
豊橋初の女性プロサーファーとして
注目を集めた金子さん。
大好きなサーフィンを通じて、
海で働くことの楽しさや
仕事で得られたものなどを紹介します。



海が近くにある豊橋だからこそ、サーフィンの楽しさを多くの人に伝えたい。

お父さんの影響でサーフィンを始めた金子さん。その楽しさに夢中になり、「もっとうまくなりたい!」と、一時は宮崎県に移住し、技術を磨きました。その後豊橋に戻り、さまざまな大会への出場を重ね、28歳で念願のプロサーファーになりました。プロとして、さらに上を目指していましたが、「海が近くにある素晴らしい環境なのに、なかなかサーファーが育たない。地元で若手サーファーを育てたい」と育成についても考えるようになり、4年前に女性限定のサーフィンスクールをスタート。初心者から上級者までレッスンし、女性目線の指導法にリピーターも続出しています。今ではSNSを通じて、豊橋はもちろん全国各地から、金子さんのサーフィンスクールを目標に、幅広い世代の女性がサーフィンをしに来るようになりました。

近くに海があるからこそ、大好きなサーフィンが仕事となった金子さん。いろいろな人との出会いを大切にしながら、充実した毎日を送っています。

profile

18歳でサーフィンを始め、2008年ポルトガルで開催された世界大会に日本代表として出場。翌年、JPSSA（日本プロサーフィン連盟）公認プロサーファーに。「Ai Surfing School」代表。



Instagramではサーフィンスクールを中心にUP!



国内はもちろん、海外へサーフトリップに行くことも!



サーファー友達とサーフィン。一緒に海に入ると楽しい!

波チェック



7:00 海到着

潮の流れや風向きなど、海の状況をきちんと見極めるために波チェックを行う。
チェック後は、波情報を自身のTwitterに投稿！

サーフィンスクール



今日のサーフィンスクールの生徒は、大阪府在住のファミリー。SNSを通じて「サーフィンをやりたい」と体験を希望。約2時間で、基本のルールや立ち方などをレッスン。

9:00 スクール開始



サーフィン
楽しい!!



11:30 スクール終了

大橋さんファミリー

子どもができるサーフィンスクールを探していたところ、金子さんのSNSを見て体験をお願いしました。

子どもはもちろん、私たち大人が一番楽しんでいたかな。
サーフィン、はまりそうです！

ランチのお供に



ランチタイム

たんぱく質や野菜を多く食べています。



1日中、海にいるため、おにぎりやお弁当を持参すること多い。お手製のレモン水で水分補給。

いろんな技を練習中！



13:00 練習

試合に向けて練習

スクールがない午後は、試合に出場するための練習も欠かさない。時間を忘れて海に入り続けることもしばしば。

17:00 終了



金子さんが伝える



豊橋で働くことの良さ

大好きなサーフィンに仕事にできる
豊橋の魅力を紹介します。



アクセスの良さ

自宅から海まで車で30分程度で到着するので、サーフィンをするにはとてもいい街だと思います。最近では交通の便も良くなり、より早く海に到着できます。また、全国各地の大会に出ることも多いので、東西へのアクセスが抜群なのも、魅力のひとつです。



仲間が増える

ローカルな街だからこそ、サーフィンを通して仲良くなる人も多いです。海に行くと、誰か必ず知り合いがいるほど。また、年に1度豊橋や近郊エリアのサーファーが集まる、「豊橋市長杯」というサーフィン大会を開催しています。子どもから大人まで多くの方が参加し、ワイワイ賑やかでアットホームな“豊橋らしい”大会になっています。



クラスコ

オフの日



「休日も身体を動かすことが大好き！」

オフの日も身体を動かすことが大好きな金子さん。カラフルなウェアも目を惹きます！

趣味
1

ランニング

朝倉川沿いを5km以上走りこむほどランニングが大好き。「穂の国・豊橋ハーフマラソン」に参加した経験も！



趣味
2

ヨガ



5年前から始めたホットヨガ。汗をたくさんかいて全身をデトックスしながら、心も整えられるので一石二鳥。

趣味
3

キックボクシング



体力トレーニングの一環としてスタート。全身運動なので、体幹も鍛えることができる。

これから夢



2020年の東京オリンピック競技にサーフィンが認定され、スポーツとして知ってもらえるようになりました。だからこそ、サーファーを育てて、豊橋から次世代のプロサーファーを誕生させたいと思います。そして、女性目線で、サーフィンはもちろん、海の魅力を広くみなさんに伝えていきたいです。

Data

Ai Surfing School <http://aisurfingschool.jp/>

クラストコ

働く

02

豊橋の筆工房で働く

中西 由季さん(28歳)



古くから代々受け継がれる、
匠の技の結晶、伝統工芸。
豊橋には、200年以上前の
江戸時代に誕生し、
国内有数の生産量を誇る
豊橋筆があります。
その中で唯一、女性の豊橋筆職人
として働く中西さん。
豊橋筆との出会いや、
筆作りの工程などを紹介します。





川合 福男さん(68歳)

豊橋筆を作り始めて50年。書道家や日本画家など、使い手の声を聞きながら、70種類以上の筆を作り、好評を得ている。

profile

幼い頃からモノづくりが大好きで、京都伝統工芸大学に入学。地元・豊橋の伝統工芸を学びたいと、豊橋筆職人の川合福男氏に師事。
職人歴7年目。

「本気で豊橋筆職人になりたい」 伝統工芸を次世代に継ぐ女性職人。

京都で生活していた大学生の頃、伝統工芸に携わる仕事をしたいと考えていた中西さん。「豊橋に戻り伝統工芸の道を」と思った時、「豊橋筆」に出会います。「豊橋筆は1人で全工程を行うため、責任感とやりがいが生まれるのがいいなと思います。作業は自宅でやる事も多く、自由なスタイルが自分にぴったりだと思ったのも決め手のひとつでした」

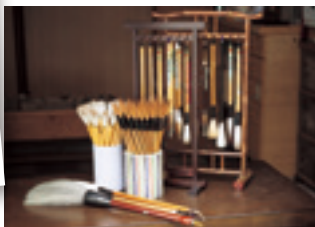
しかし、市内にある筆工房を何か所も巡っても、弟子入りは難しく断られ続ける毎日。それでも、師

匠・川合さんとの出会いがきっかけとなり、職人の道へ。「伝統工芸士になるには約20年かかるので、途中で辞めてしまうのでは…」と思っていた川合さん。本気で「豊橋筆職人になりたい」という熱い想いに心動かされました。「今では、一人前の職人として全工程を任せています。若い職人が増えてほしいですね」と、川合さんも期待を寄せています。

豊橋筆職人では唯一の女性として、今日も中西さんは筆作りに励んでいます。



工作が大好きだった幼少期。
子どもたちの作品が集まる造形パラダイスでのひとこま。



大小さまざまな筆が
ずらりと揃う豊橋筆。
墨含みの良さと滑らかな書き味で、全国の書家たちから支持されている。

豊橋筆ができるまで

豊橋筆作りには約36の工程があります。
大きく4つに分けた工程を紹介します。



1. 毛もみ

もみから
粗殻を燃やした灰をかけて揉み合わせ、毛の脂分を取り除く。毛先が途中で切れているものを取り除き、まとめていく。



2. 練り混ぜ

ヤギや馬など、いろいろな長さの毛を組み合わせたものを、何度も丁寧に広げ折り畳んでいく。



3. 芯立て

筆の大きさに分けた毛束を、1つ1つ小さなこま(型)に通して太さを均等に仕上げる。



4. 尾締め

グツと歯で噛みしめながら、穂先の根元に糸を食い込ませてコテで焼き、熱いうちに筆の先端を焼き上げる。

豊橋筆 の 極意

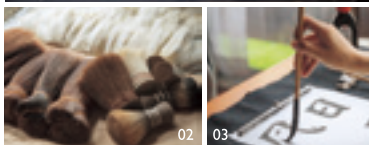


01

極意
01

伝統工芸を支える道具

ハサミやくしなど、シンプルな道具をいくつも使い分ける。
穂先の寸法を決める「分板」は筆によって組み合わせを変える。



02

極意
02

動物の毛の特徴を理解する

ヤギの毛は柔らかく、馬の毛は強く光沢があるなど、それぞれの特徴を理解し、混ぜ合わせることで、ベストな筆が誕生する。

極意
03

10年、20年先も同じ書き味に

「使い手のことを考えて作る」のが豊橋筆の良さ。職人それぞれの個性は出さずに、常に同じ形や質感を保つことが大切。

Schedule 中西さんの「働く」1日

6:00 起床

筆作りがスムーズにいくように、「毛の選別」などの下準備を自宅で行う。

筆専用のアイロンで
くせを取ります



毛の選別



8:00 出勤



自転車で通勤する中西さん。
約10km離れた工房まで、40分かけて
雨の日でも自転車で行く。

師匠チェック



1日中あぐらをかいて
仕事。初めは、あぐら
をかきすぎて腰を痛
めました…!



中西さんが作った筆を
師匠が細かくチェック

中西さんが作った筆は、
段階に分けて師匠の川
合さんにチェックしてもら
う。「職人はいつまでも
日々勉強です。教えるの
ではなく、考えて取り組
むことで成長にもつなが
ります」と川合さん。

こんな仕事もしています

小学校の出前授業

市内の小学生に向けた出前
授業を行っており、豊橋筆
作りの体験を通して、その
魅力を伝え続けている。



職人の
仕事に緊張…

17:00 終了

18:00 帰宅

自分が作った筆の使い心地
などを確認するため、書道
をしている。

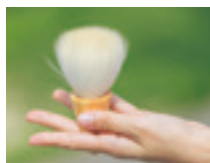
心も静まります。



書道

「福筆」ふくふて

“子どもを洗える世界一やさ
しい筆”をテーマに新しく誕生し
た子ども用洗浄筆にも注目。



販売に向けて
準備中!

クラストコ

オフの日



多彩な趣味を満喫！

休日はアクティブに過ごすことが多いという中西さん。筆作りの真剣な姿とはまた違った一面に出会いました。

趣味
1

バドミントン



毎週、地区体育館で行っているバドミントンサークルに入会。大勢のメンバーと一緒に、和気あいあいと打ち合い、ストレス発散。

趣味
2

ガーデニング



「心も癒やされる」とガーデニングに興味を持ち始め、毎朝の水やりや、手入れなどを行う。自宅には、四季折々のきれいな花が咲き、野菜も実る。

趣味
3

サーフィン



お父さんがやっていたのがきっかけで、5年前から始めたサーフィン。自宅から海までも近く、時間がある時は友人と一緒に海へ向かう。

これから
夢



まずは、伝統工芸士の資格を取ることが目標です。そして、時代のニーズに合わせて、筆の売り方や表現方法を学びながらPRしていきたいです。若手の女性の豊橋筆職人も増えてほしいですし、ゆくゆくは育てていきたいとも考えています。

伝統工芸士とは… 伝統工芸の技術や技法を保持する人を認定する国家資格。12年以上の実務経験がある上で、知識・実技のテストを受ける。

日本の伝統仕事着「帆前掛け」を知ろう！

織りの後継者

有限会社エニシング
前川 圭子さん(35歳)

織り職人

芳賀織布工場有限会社
芳賀 正人さん(69歳)

染め職人

完和萬染株式会社
杉江 秀介さん(86歳)

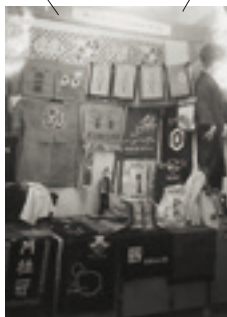
織りの後継者

有限会社エニシング
影山 幸範さん(36歳)

米屋や酒屋などで昔よく目にした、日本伝統の仕事着「帆前掛け」。昭和30年～40年代の最盛期には100軒ほどの製造者がいたといわれるほど、豊橋は帆前掛けの一大産地でした。しかし、機械の自動化や広告宣伝の方法が変化したことなどにより、昭和50年代には一気に衰退しました。その後、「伝統を守りたい」と、東京のアパレル会社が平成26年から市内の織布工場に若手社員を派遣。現在2人が技術を身にかけています。

「丈夫で暖かい」と庭仕事やガーデニングの時に使ったり、部屋に壁掛けや暖簾のように飾ったりと、帆前掛けは若い世代にも注目されています。

昭和39年に開かれた
豊橋繊維振興展



戦後全国の酒蔵や醤油屋など、あらゆる業種で会社や店の屋号、社名が入った広告媒体として使われた帆前掛け。最盛期には1日1万枚もの出荷があったそう！

帆前掛け製作の流れ

明治～大正期に発明された
シャトル織機は現役です！



整経 (縦糸)

830本の糸が絡まらないように、巨大ロールに巻き直す。



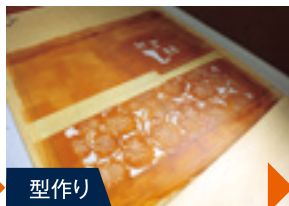
管巻き (横糸)

横糸を細かい棒に巻き付けてシャトルに入れる。



織り

縦糸と横糸を合わせながら、厚く長持ちする柔らかい生地を織る。



型作り

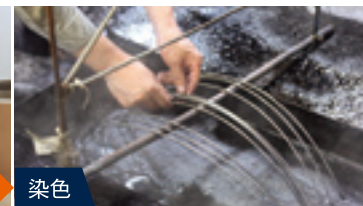
下絵に基づき手作業で切り抜く。

根気のいる作業です



糊置き

熱湯で煮て柔らかくした生地に型を置き、白くしたい絵柄の部分に糊を置く。



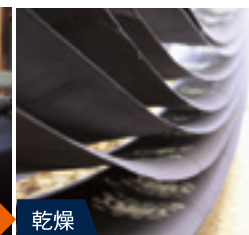
染色

約70℃に熱した溶液に反物を2分ほど浸ける。色むらのないよう素早く上げる。



水洗い

染め上がりを確かめながら生地両面の糊を洗い落とす。



乾燥

日光のもと天日干しする。



市制110周年記念で製作された帆前掛け。手筒花火で豊橋をPR。

おしゃれな
帆前掛けが
できました



女性ならではの視点を取り入れた「花咲く帆前掛け」を豊橋市の女性職員が開発。帆前掛けを2枚つなげて、スリットを入れることで動きやすくなったことが特徴です。市の徽章、ちぎりマークがプリントされたオシャレなデザインです。

販売場所 市役所じょうほうひろば、美術博物館、駒屋ほか
価格 3,780円(税込)

クラストコ

働く

03

豊橋の農家で働く

小林 礼奈さん(26歳)





穏やかな気候や立地に恵まれた豊橋は、
農業王国として、全国的にも有名です。
中でも、ブリッとしたかわいらしい形と
赤や黄、緑などのカラフルな色合いのミニトマトは、
国内トップクラスの出荷量を誇ります。
約130人のミニトマト農家がいる中、
20代の女性は小林さん、ただ1人！
農業の魅力など、ミニトマト愛あふれるお話を伺いました。



profile

高校卒業後、実家のミニトマト栽培を手伝ったことがきっかけで、18歳から農業の道へ。現在はお父さんが代表を務めるが、将来は2代目として跡を継ぐ。



「おいしい」という笑顔に会いたくて、ミニトマトと丁寧に向き合う毎日。

市内にある広大な4棟のハウスで、赤・黄・オレンジのミニトマトを栽培している小林さんご家族。お父さんの信さんが、ミニトマトの栽培をスタートし、小林さんも学生時代に手伝いをしていました。高校卒業後、家業を継ぎたいとの思いで農家の道へ。当初は信さんのサポートをしていましたが、今ではハウス1棟(500坪)を任されるほどに。「ミニトマトは、水の量や肥料の濃度など栽培管理で糖度・味・収量が変わります。きちんと考えながら育てないと失敗してしまいます。責任感があるからこそ、やりがいが生まれる仕事なのでとても面白いです」と小林さん。効率良く、高品質に仕上げるために管理を徹底しているの、収穫した時の感動もひとしおです。

昨年5月に結婚し、夫婦で力を合わせて仕事に取り組むことも増えてきたそう。「主人と相談しながら作業するのが楽しいです。想いを共有しながら、おいしいミニトマトを育てていきたいです」



小林さんご家族

左から、お父さんの信さん、お母さんのひろみさん、礼奈さん、ご主人の正隆さん

収穫のピークは4～6月。6月の取材時はたくさんミニトマトが実っていた。

トマトの劣化を確認



前日に箱詰めしたミニトマトに劣化がないか、500箱ほどのミニトマトを1箱ずつ丁寧に確認し、出荷に向かう。

傷みやすいので
優しく作業



4:30 起床

それぞれのハウスを巡り、収穫作業開始。10:00
パート従業員と一丸となって作業し、収穫後は、
倉庫でミニトマトの箱詰め作業を行う。

倉庫で箱詰め



ハウスで収穫作業



13:00

葉かき作業



収穫したミニトマトの
大きさを機械で選別。

風通しを良くし、病害虫の発生
防止のために、下葉をカット。
時期によって異なるが、週に1
度はこの作業を実施。

17:00 終了

スマホで農業！



スマートフォンの専用アプリで、ハウス内の
窓の開閉、冷暖房、水量、二酸化炭素量な
ど、あらゆる管理が遠隔操作できる。外出
先でもハウスの状況を確認しながら急な天
候変化に対応できるので、とても便利！

進化する
ハウス栽培

グリーン

肉厚でスッキリとした
爽快感が
魅力です。

麗®

糖度が高く
フルーツ感覚で
楽しめます。



小林さんが教える



豊橋産ミニトマトいろいろ

カラフルな色や形など
さまざまな種類があるのが、
豊橋産ミニトマトの
魅力のひとつ。
それぞれに味わいが
違うので、
好みのミニトマトに
出会えますよ。

イエロー

皮が柔らかく、
甘さと酸味のバランスも
良いですよ。

オレンジ

しっかりと厚い皮で、
甘さが強いのが特徴です。

クレア

豊橋でしか作られていない品種。
細長くヘタが無いのが特徴。
プチッとした食感で、
トマトの甘みが口全体に広がります。

クラストコ

オフの日



もっとミニトマトを楽しもう！

ミニトマトはそのまま食べるだけでなく、いろいろな料理に活用して、色とりよく見せることができます。小林さんとお母さんが、自宅でよく作る小林家流・ミニトマト料理を紹介します。



ブルスケッタ

フランスパンに、半分にカットしたミニトマトとカマンベールチーズを置いてオーブンへ。

たまご&アスパラソテー

オリーブオイルで、ミニトマト、アスパラを炒める。卵とふんわりかき混ぜて、完成。

ミートスパ

水を一切使わずミニトマトの水分だけでじっくり煮込み、挽肉を混ぜ合わせた一品。

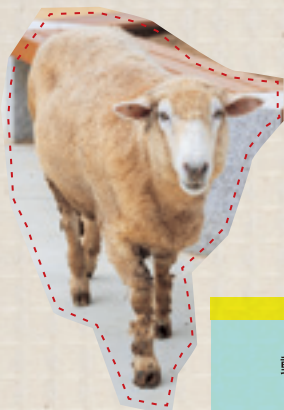
チーズ焼き

ミニトマトにオリーブオイルと塩こしょう少々、チーズと大葉をのせてオーブンで焼く。

これから
の夢



今後は、ハウスを大きくして10年後には会社として経営していきたいです。数量、品種を増やしながら、もっとたくさんの方にミニトマトのおいしさを伝えられるよう、頑張りたいと思います！豊橋のミニトマトを、これからも応援してください。



リンカちゃん



クローバーちゃん

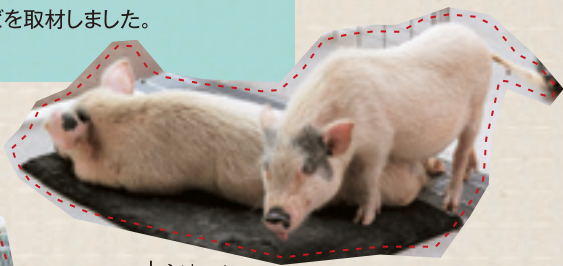
動物園、植物園、自然史博物館、遊園地の
4つの施設が一体化した
豊橋総合動植物公園「のんほいパーク」。
中でも動物園では、ホッキョクグマのダイビングや
草原を走るシマウマなど
約130種800頭羽もの動物が
出迎えてくれます。
園内の、動物と触れ合える「なかよし牧場」で
小動物の飼育を担当しているのが
福島県出身の石尾さん。
飼育員の仕事や、のんほいパークの
魅力などを取材しました。



ビオラちゃん



もちくん



トンちゃん

ルフちゃん



タワシちゃん

クラストコ

働く
04

豊橋の動物園で働く

石尾 雪乃 さん(28歳)





profile

福島県郡山市出身。動物を通じた教育がしたいと、大学卒業後、豊橋総合動植物公園へ就職。「なかよし牧場」内で、モルモットやウサギなどの動物の飼育・管理を行う。

動物との触れ合いを通して、 心の発達や教育をサポート。

福島県で生まれ育ち、神奈川県獣医学系の大学へ進学した石尾さん。卒業後は動物園で仕事をしたいと、全国10か所以上の動物園を巡ったそう。「私の地元には動物園がなかったので、子どもたちが動物と触れ合う機会を増やしたいという思いや、動物の保護に興味がありました。大学で勉強している中で“動物との触れ合い＝心の教育”に繋がると感じ、総合的な学習ができる豊橋総合動植物公園に就職を決めました」

現在、園内にある「なかよし牧場」で小動物の飼

育を担当。動物の健康管理はもちろん、エサやり体験などをサポートしています。また、学校行事の一環で行われる、動物教室や職業体験にも対応しており、動物を通じた教育活動にも力を入れています。「言葉が話せない動物と触れ合うことで、心の会話が生まれ、子どもの心の発達にも繋がります。ここで、動物との関わり方を学んでもらえると嬉しいです」

動物園の縁の下での力持ちでもある、飼育員。動物の世話だけでなく、教育やレクリエーションなど、さまざまな取り組みを私たちに提案し続けています。



大きな動物を扱う難しさ
楽しさを実感した大学時代



大学時代、実験の合間に犬と遊んでリフレッシュ

食事作り



小屋の掃除



エサやり体験用のニンジンを細かくカット。



開園の準備 8:30

担当しているモルモットや、ブタ・ヤギの小屋を掃除し、動物たちの体調をチェック。

ふれあい広場 10:00
もぐもぐひろば
午前の部オープン

動物との触れ合いサポートや、子どもたちに動物の特徴などをしっかりと伝える。

午前の部終了 11:45

午後の部オープン 13:20

午後の部終了 15:30

動物の世話や 16:00
収容

SNSで動物たちの
かわいい姿を発信。

終了 17:15



職場のスタッフとも
信頼関係◎



「なかよし牧場」に密着取材



午前・午後と1日2回開催する「ふれあい広場」。広場内では、ウサギやモルモットに触れることができ、モルモットはひざの上で抱くこともできます。また、昨年リニューアルした「もぐもぐひろば」では、ヤギやヒツジ、カピバラなどのエサやり体験もできます。

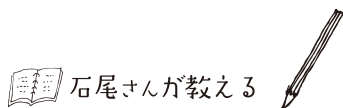
エサやり
体験 10:00～11:45
13:20～15:30



かわいらしいチョークアートは、
スタッフの手書き♪



うさぎさん、
かわいい～！



石尾さんが教える

のんほいパークの良さ

福島県出身の石尾さんから見た
のんほいパークの魅力を紹介します。



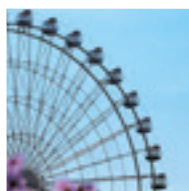
動物について詳しく学べる



市内にはウサギを飼っている小学校が多く、子どもたちから動物との関わり方を聞かれます。また、学校ごとに開催される動物教室では、先生からも動物への質問があり、子どもたちにとっては「先生も知らないことがあるんだ!」という驚きや新たな発見が得られます。さらに、小学3～6年生を対象にしたサマースクールは、飼育員の体験や、動物園の仕事について楽しく学べるとあって、毎年好評です。うまく子どもの興味をひきながら、いつの間にか「楽しく学べた」「知識が身に付いた」という教え方を心掛けています。

総合的な学習ができる

のんほいパークは体験・学びが集まった場所です。



のんほいパークは、4つの施設（動物園、植物園、自然史博物館、遊園地）が一体となっています。自然史博物館で進化の過程を学び、動植物園で現在の生物について学ぶなど、連携した取り組みを園内で行うことで、総合的な学習をすることができます。これは、全国でも珍しく、素晴らしい施設だと感じています。

クラストコ

オフの日



〔自転車に乗って豊橋市内をグルグル〕

休日になると自転車で市内をグルグル回る石尾さん。

今日は、職場の同僚と一緒に行ってきま〜す!

同僚(写真右)
足立 珠央さん(23歳)



石尾さんの好きな場所 ① 浜道地区に広がる田園風景

辺り一面に田園風景が広がり、とても癒やされます。
空気も澄んでいるので、きれいな星空を眺めることもできますよ。

石尾さんの好きな場所 ②

岩屋緑地展望台からの街並み

仕事先からも近い岩屋緑地展望台によく行きます。新幹線を見て、故郷を懐かしく思い出すことも。ここから見る豊橋市街が大好きです。



これから夢



全国的に見ると、のんほいパークは認知度が低いのが現状です。しかし、施設の充実度は全国でもトップレベル! 働きかけ次第で、認知度が上がると思っています。豊橋出身ではないからこそ、豊橋の良さや、のんほいパークの良さを引き出す広報活動、動物教育についても力を入れていきたいです。

Data

大岩町字大穴1-238 TEL.0532-41-2185
9:00~16:30(入園は16:00まで)

のんほいパーク
(豊橋総合動植物公園)

〔休園日〕月曜日(祝日、休日の場合は翌平日)、12月29日~1月1日

〔入園料〕大人600円、小・中学生100円、未就学児無料

〔P〕有り(普通車200円)

<http://www.nonhoi.jp/>

クラスコ

働く
05

豊橋のダンススタジオで働く

バネッサ・マサキ・ミナモト さん(37歳)





豊橋には、72か国約1万5千人の外国人が暮らしています。
その中でもブラジル国籍の方は全体の半数近くを占めており、
多くのブラジル人が住む街として知られています。
10代の頃に、家族全員でブラジルから日本に渡り
現在は、3児のお母さん&ズンバの講師として
市内にダンススタジオを開設しているバネッサさん。
ダンスの魅力や、豊橋での暮らしぶりについて伺いました。

ダンスは自分の生きがい！ ズンバを通して世界と繋がる。

今年、来日して20年を迎える、バネッサさん。ブラジルのサンパウロで生まれましたが生活が苦しく、家族全員で日本へ渡ることを決意しました。来日後は工場に勤め、日系3世のご主人と知り合い20歳で結婚。3人の子を産み育てながら感じたことは、「家族の側にいながら、自分らしく仕事がしたい」という思いでした。そんな時、ダンスと音楽を同時に楽しめるフィットネス“ズンバ”に出会います。日本語を学びながら、ズンバインストラクターの勉強にも励み、無事に資格を取得してスタジオを開講。今では、月に90教室をこなす人気スタジオの講師となり、日本人やブラジル人、ペルー人など、国籍問わず、さまざまな女性がレッスンに訪れています。

お母さんの顔と、講師の顔を持つバネッサさん。周りをハッピーにする明るい笑顔の裏には、努力を重ねた日々がありました。



profile

ブラジル・サンパウロ生まれ。17歳の時に家族全員で来日し、豊橋に住む。ダンス好きが高じて、平成24年にズンバインストラクターとなり「バネッサ・ダンススタジオ」を開講。



バネッサさんが5歳の頃。この頃からダンスが大好き！



年が離れた双子の兄弟も一緒に、兄弟みんなでバチリ♪



バネッサさん(当時19歳)とご主人のツーショット♥



子どもたちは学校へ 7:30

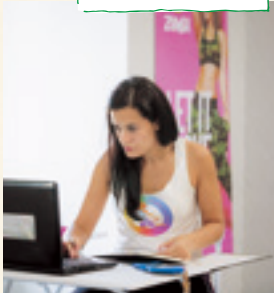
3児のお母さんとして、朝は子どもたちの準備で大忙し! 長男のフェリッペくん(12歳)、次女フェルナンダちゃん(9歳)は小学校へ。毎朝の送り出しは欠かせない。

午前のレッスン開始 9:00

自宅からすぐの場所にあるスタジオで開講。1時間単位でレッスンをを行い、多い時は午前中で3教室もこなす。

12:00

資格取得の勉強



次回に向けて新曲の振り付けなどを考える。また、将来別の資格も取得するため、勉強に励む。

新しい振り付けや
資格取得の勉強 13:00

レッスン



子どもたちが帰宅 17:00
夕飯準備

家事をこなすことで
リラックスして
踊れます!



夜のレッスン開始 19:00

子どもたちの夕飯をすませたら、夜は再びレッスンに。終了が22時を過ぎる日もあるそう。

帰宅 22:00



学校のみんなと
お揃いの衣装

体も頭も使う
考えられたダンスです!

「ズンバ」って何?

ラテン系のノリの良い音楽に合わせて、ダンスやエアロビクスなどをミックスさせたエクササイズ。現在180か国以上、約2千万人がズンバを楽しんでおり、世界中で親しまれています。ラテン系の音楽に合わせて「楽しみながら動く」ので、ダイエットやストレス発散なども期待できます。



仕事を通して、 国籍問わず仲間ができた

スタジオを開講し、さまざまな国籍の方と仲良くなりました。
豊橋にはたくさんの外国人が住んでいます。このスタジオに来る女性はみんなポジティブで明るい人ばかり！言葉が通じなくても、体で表現するなど、コミュニケーションをとることが出来ますよ。“バネッサファミリー”と生徒たちが言うてくれるように、私も生徒みんなが家族の一員です！



国籍 さまざまな 生徒さん



日本

土井 るみこさん(46歳)

広小路の歩行者天国イベントで、バネッサのズンバを初めて見て感動したのがきっかけ。全身で表現できるので、言葉の壁はありません！



ルーマニア

アレデス・ルイザさん(18歳)

母と一緒にズンバを習っています。ポルトガル語、スペイン語などが飛び交い、ここはまるで語学教室のようです！一生ズンバをやり続けたいな。



ブラジル

カルメン・モラトさん(36歳)

みんなで誕生日会やクリスマス会をやるなど、ここは私にとって第2の家族・親戚みたい！いろいろな文化を知れて、話題も増えて、最高！



ベルー

モニカ・ベナビデスさん(43歳)

以前は内向的で悩んでしまう性格でしたが、ズンバを通して明るくなりました。さまざまな国籍の方と仲良くなり、言葉も理解できるようになりました。



お気に入りの場所は、岩田運動公園内のせせらぎ

緑が多く自然豊かな環境にホッ

幼少期から自然が大好き。豊橋は、公園にたくさんの緑があり、行くだけでホッと心癒やされます。自然に身を委ねることで、エネルギーをチャージすることができ、心と体をリフレッシュできます。

クラストコ

オフの日



家族みんなで、郷土料理「ブラジル料理」を作る

大好きな料理をみんなで作ることも多いバネッサ一家。
休日には子どもたちが好きな料理と一緒に作ります。



ラザニア



子どもたちの一番人気「ラザニア」。ゴロっとした食感の牛肉とトマトを煮込んだミートソースに、ギョウザの皮、ハム、チーズを何層にも重ねてオープンへ。チーズのトロ〜リとしたおいしさがクセになる。

カルネデバネラ



牛肉の煮込み料理。モモ肉を圧力鍋でしっかりと煮込むので、柔らかい食感に。

フェイスン



日本の味噌汁のように、ブラジル料理には欠かせない豆煮込み。ご飯にかけて食べると◎

ポレンタ



トウモロコシの粉と水を煮込んで、その上にミートソースをかけて完成。トウモロコシとミートソースが相性抜群。

これから夢



今は大人向けメニューのみの教室ですが、子ども用のメニューを提案し、幅広い年齢の方にズンバを知ってほしいです。将来の夢は、ズンバの視点でサポートできる「スポーツトレーナー」です。サッカーやテニスなどの専属トレーナーとして、選手の夢を少しでもお手伝いしたいと思っています。

Data

バネッサ・ダンススタジオ

三ノ輪町2-97

Facebook「Vanessa Zumba Instructor」で検索



取材を終えて

クラストコ編集者が、女性たちの姿を通して見た「豊橋だからこそできる働き方・暮らし方」とは。



クラストコ編集部(左)
岩下 加奈

クラストコ編集部(右)
竹田 佳子

profile

豊橋市在住、編集者・ライター。
ミニトマトが大好きで、ずっと食べ
続けることができる。

豊橋市広報広聴課4年目職員。
オフの日は、子どもの宿題と遊び
に付き合う。

何をやりたいかを大切に、その答えに 近づくよう努力している姿が素晴らしい！

豊橋で働くことは

岩下 約1年かけて今回の「働く」をテーマに取材してきましたが、素敵な女性たちばかりでしたね。

竹田 今回取り上げた女性たちは、海、伝統工芸、農業、レジャー施設、多国籍と、豊橋らしい働き方や暮らしている方でした。豊橋にはそれだけ、仕事にできる素材やネタがあり、考え次第で、仕事にできるのが素晴らしいと改めて感じました。

岩下 実際にサーフィンをしている姿や、筆作り、ミニトマト栽培、動物との触れ合い、多文化交流など、豊橋の自然豊かな気候風土だったり、住みやすい環境だからこそ叶えられる仕事なのかなと思いましたね。特に、パネッサさんの取材では、教室にいる生徒のほとんどが外国の方で、ここは豊橋?日本?と錯覚するほど異国な感じが新鮮でした!みんなパワフルだったな。

竹田 豊橋は、海以外にも山や川、公園など自然に囲まれています。帆船掛けや豊橋風などその道の達人もいますし、たくさんの農家さんたちが私たちの暮らしを豊かにしてくれています。そして、文化的施設も多く、さまざまな芸術・文化に触れられるのも魅力ですね。

岩下 給料や休暇、アクセスを意識して仕事を決めるのは大事なことです。彼女たちは、先にやりたい

こと、何がやりたいかを自分に問いかけて、その答えに近づくために努力していますね。その姿が勇ましく、強い信念・意思・パワーがあると感じました。

竹田 今ある環境をいかに変化させて、充実させるかで働き方・暮らし方は変わってきますね。だからこそ、豊橋の「働きやすさ」は「暮らしやすさ」にもつながっていると感じています。

豊橋で暮らすこと

岩下 クラストコ2号目の企画出しの時に、「仕事」だけに限らず、その働く人がどんな暮らしをしているのかも取り上げたいと誌面づくりにもこだわりましたよね。

竹田 豊橋には暮らす楽しみもあると思うんです。働くことはもちろん大切ですが、オフ日をどう過ごしているか、どう暮らしを愉しんでいるのか知りたいなと思いましたね。

岩下 実際に取材をして、みなさんのオフ日の過ごし方に、豊橋らしさがあって驚きました。穂の国・豊橋ハーフマラソンに出場するためにランニングをしたり、公園や田園風景に癒やされたりと、オンとオフの切り替えがはっきりしているから、充実した仕事ができているんですね。

竹田 自然を感じて心癒やされる「静」の部分と、アクティブにスポーツやサークルで体を動かして汗を流す「動」の部分がちょうどよいバランスを保っていた

り。市内で、いろんなことができるオフのコンテンツがあるということをも改めて感じました。

岩下 オンのためにオフを満喫し、オフのためにオンも全力で取り組むことができる環境が揃っているのは嬉しいですね。

竹田 それに、彼女たちは食やファッション、子育てなど、女性的な一面を忘れていないのも印象的でした。

岩下 そうですね。それはすごく感じました。自分磨きのために惜しまない努力が、さりげなく伝わってきて素敵だなと思いました。

竹田 彼女たちのそういう熱意や姿が女性たちの共感を得て、彼女たちの周りに人が集まってくるんだと思います。それによって、彼女たちにまた輝きが増していく…という相互作用ができているのかも。そんな女性たちがいる豊橋を誇りに思いましたし、私も頑張ろうと勇気づけられました。



クラストコ
働く

改めて感じる、豊橋で働く・暮らすことの良さ

- 1 豊橋には仕事にできる素材やネタがあり、考え次第で仕事にできる
- 2 「働きやすさ」と「暮らしやすさ」はリンクしている
- 3 オンのためにオフを満喫し、オフのためにオンも全力で取り組むことができる環境がある



クラストコができるまで 『取材の裏側』 ～働く編～



豊橋筆職人の中西さんは毎朝
この自転車で通勤!
#実際に自転車に乗ってみた
#どうやって撮影しようか悩む図



開放感たっぷりの田園風景!
#とっても暑い夏の日
#緑と青のコントラストが最高



ミニトマトはこのようなように撮影しました。
#カラフルなミニトマト
#どれもおいしかった



ヨガってどんな感じ? 試行錯誤中。
#いろいろ違っていいポーズ
#今にも羽ばたくポーズ



すぐに日焼けをした一日でした。
#海っていいよね
#翌日は日焼けで顔も手も真っ赤に



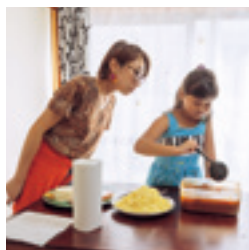
誰が一番長く身体を保てるでしょうか。
#開始数秒ですでにブルブル
#悲鳴が響きわたる



愛しのミニトマトちゃんを、
どう美しく撮ろうか。
#ミニトマトを起立させる
#あ～倒れる～



運動公園は、自然いっぱいです。
#癒やしの時間
#川のせせらぎが最高



ブラジル料理とってもおいしかった!
#つつい視き見
#おいしそうにできたね



#クラストコ

本とインスタが連動！

豊橋でのヒトコマを配信しています！

Instagramでは、豊橋で暮らす人の姿や日常など、市民の顔や暮らしぶりが見えるヒトコマのほか、取材風景や本の中で使いきれなかった面白ネタなどを画像や動画で紹介しています。ぜひ、みなさんも「#クラストコ」のハッシュタグをつけて投稿し、豊橋のライフスタイルをシェアしませんか？あなたの「#クラストコ」投稿がクラストコ賞に輝くかも！



豊橋ライフスタイルブック クラストコ Instagram
【kurasutoko】

URL: <https://instagram.com/kurasutoko/>



豊橋の人をもっと知る

豊橋の人

検索

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/31874.htm>

かがやくヒト、すてきなトヨハシ

豊橋の人

Toyohashi Promotion Video



豊橋の魅力“花”

東京で働いた経験を活かし、豊橋や地域の花の魅力を全国へ発信している太田春菜さんの、豊橋の花や地元への思いとは。



豊橋の魅力“自然”

プロサーファーとして活躍しながら、環境保全、海の魅力を伝える活動に取り組む萩原健太さんの、豊橋の海・川や地元への思いとは。

クラストコVOL.01がリアルに体験できる

クラストコVOL.01
平成29年3月に
発売しました。

クラストコ体験会を開催しました

平成29年3月に産声をあげたライフスタイルブック「クラストコ」。1号目の「愉しむ」をテーマに、本の世界をリアルに感じられるイベントとしてさまざまな体験会を開催しました!ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。ここでは、体験会の一部や参加者のみなさんの声を紹介します。



クラストコVOL.01 P22~

夏の思い出ができました!



第1弾 SUP体験会

8月27日(日)



サンセットヨガが
心落ち着きました。



プロサーファーの萩原さんによる指導のもと、ボードに立ち、パドルで漕ぐスポーツ「SUP(スタンドアップパドル)」を体験!当日は20~30代の女性やカップル、家族が参加し、豊川から吉田城やサンセットなどの眺めを楽しみました。



クラストコVOL.01 P32~

第2弾

紅茶づくり体験会 9月10日(日)



本当においしかった!



貴重な体験が
できました。



ごとう製茶さんの手ほどきを受け、茶葉の手もみから、発酵、乾燥、袋詰めまで行ったほか、作った紅茶の飲み比べや、紅茶を余すことなく使った料理を堪能しました。参加者は、世界に一つだけの紅茶を作り上げる達成感を味わいながら、楽しいひと時を過ごしました。



第3弾 普門寺ハイキング体験会 11月19日(日)

クラストコVOL.01 P11～



景色が開けた瞬間が
忘れられません！



もっと地元の人たちに
知ってもらいたいと
心から思いました。



豊橋の紅葉の名所「普門寺」で、副住職に見どころを聞きながらハイキング。ゴールでは、豊橋市街から富士山まで望めるという絶景が！秋の自然を感じながらハイキングした後は、素焼きの皿を頭に乘せて行く「ほうろく灸」で心も体も温まりました。



第4弾 スケート体験会 12月27日(水)

クラストコVOL.01 P28～



また滑りたい！



楽しかった！



アクアリーナ豊橋で、年少児から30代までの方が参加し、スケートを体験しました。まずは、東海地方唯一の豊橋シンクロナイズドスケートクラブの妖艶な演技を鑑賞。その後、クラブのみなさんの指導のもと歩き方や滑り方を教わりました。最後は参加者同士で手をつないだり、汽車のようにつながったりと、シンクロナイズドスケートの技を体験しました。



三河臨海緑地

三河湾



アクアリーナ豊橋
総合体育館



ライフポートとよはし

名鉄名古屋本線

1

豊川



こども未来館
ここここ

豊橋市民病院



穂の国とよはし
芸術劇場プラット

中央図書館

豊橋市役所

豊橋駅

公会堂

豊橋創造大学

美術博物館

豊橋公園

向山緑地

柳生川

ほいつぶ

高師緑地

愛知大学



農家で働く
小林 礼奈さん

259

豊橋鉄道湿美線



VOL.01で紹介
デルフィニウム



野外教育センター

少年自然の家

442

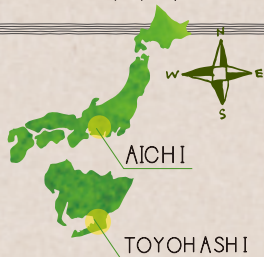


賀茂
しょうぶ園

クラストコ

暮らすとこ

MAP



VOL.01で紹介
石巻山
ハイキング

石巻山



筆工房で働く
中西 由季さん

豊橋鉄道市内線(市電)

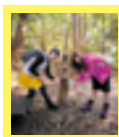


ダンススタジオで働く
バネッサ・マサキ・
ミナモトさん

岩田運動公園

朝倉川

葦毛湿原



VOL.01で紹介
普門寺
ハイキング

普門寺

幸公園

岩屋緑地

視聴覚教育センター
地下資源館



二川駅

二川宿本陣資料館

JR東海道本線

JR東海道新幹線



動物園で働く
石尾 雪乃さん

豊橋総合動植物公園
のんぱいパーク

豊橋技術科学大学

資源化センター
りすば豊橋

国道23号名豊道路



VOL.01で紹介
豊橋紅茶



海で働く
金子 藍さん

太平洋

私たちが
クラストコを
作っています!



編集
後記

企画・発行

豊橋市役所広報広聴課
本多 まり子

撮影

株式会社鈴木写真館
清水 しげみ

撮影

株式会社鈴木写真館
前沢 美憂

今号から編集に携わりました。山へ、海へ、初めての場所へ取材に行き、豊橋で働く元気なみなさんからエネルギーをたくさんもらいました。

今回5名の方の暮らしに触れ、お仕事も私生活も、パワーと笑顔いっぱいの姿を撮影することができました。魅力的な人達と出会えて楽しかったです。

仕事もプライベートも毎日が楽しそうで、笑顔がキラキラして素敵な方ばかりで元気をいただきました。トマトもブラジル料理もとってもおいしかったです!

次回予告

「育てる」

豊橋に住む方々の「子育て」について、
さまざまな視点でお伝えします。



イラスト・DTP・デザイン

DESIGN STUDIO LOOP
松本 佳子

豊橋でこんな仕事で素敵な生き方をしている方を知り、「それをみなさまに伝える仕事」に関わる事ができ、幸せに思います。

編集・取材

ALii
岩下 加奈

豊橋で働くことの良さを、取材を通して改めて感じました。みなさんオフ日の過ごし方が素敵で、ぜひ参考にしたいなと思いました。

企画・発行

豊橋市役所広報広聴課
竹田 佳子

仕事を自分のものとし、愉しみに変えているみなさんの姿が印象的でした。そんな方々と出会えた私の仕事も誇りに思います。

印刷・製本

共和印刷株式会社
森田 正志郎

今回も、紅一点ならぬ黒一点で、魅力的な女性に囲まれ、楽しく仕事ことができました。改めて、女性のパワーに脱帽です！



おわりに

サーフィンはもちろん、海の魅力を広く伝えていきたい金子さん。

伝統工芸に誇りを持ち、豊橋筆職人の後継について考える中西さん。

ミニトマトのおいしさを感じてほしいと、農業と向き合う小林さん。

のんほいパークを、もっと全国的に知ってほしいと取り組む石尾さん。

国際交流盛んな豊橋だからこそ、好きなダンスに携わっているバネッサさん。

今回は5名をご紹介しましたが、

他にも、豊橋には「好きなことを仕事にしている」

「仕事を愉しさに変えている」女性たちがたくさんいます。

豊橋だからこそできる、叶う、働き方。

あなたはどんな「働き方」をしたいですか？

豊橋で、好きなことを仕事にし、充実した暮らしをする。

そんな輝きある人生をおくりませんか。

次号は「育てる」についてです。

子どもを産み、育てる中で、豊橋ではどんな子どもの育て方ができ、

どんなサポートができるのか。

豊橋ならではの子育てについて、さまざまな視点から紹介します。

また、来年お会いしましょう。



クラストコ編集部

豊橋ライフスタイルブック

クラストコ

VOL.02

平成30年3月23日発行

企画・発行

クラストコ編集部(豊橋市広報広聴課)
〒440-8501 愛知県豊橋市今橋町1番地
TEL.0532-51-2165

編集・取材

ALii(岩下 加奈)

イラスト・DTP・デザイン

DESIGN STUDIO LOOP(松本 佳子)

撮影

株式会社鈴木写真館(清水 しげみ/前沢 美憂)

印刷・製本

共和印刷株式会社

※本誌記事・写真・イラストなどの無断複写・複製・転載は禁じます
※掲載内容は平成30年3月23日現在のものです

 豊橋市

ISBN978-4-9909144-3-1

C0076